

栽培暦		3月	4月		5月			6月	7月	8月	9月	10月	
		春 耕	種子 消毒	催 芽	播 種	育 苗	施 肥	代 掻 き	田 植 え	米 ぬ か 散 布	中 干 し	追 肥	出 穂
有機栽培の 具体的な作業		春耕	種子消毒	育苗	施肥,代掻き	田植え	雑草対策 (米ぬか除草法)		追肥		稲刈り	秋耕	
			温湯種子消毒 60℃の温湯に10分浸して種子消毒	無化学肥料育苗 有機肥料のみで育苗 播種量は少なく ※プール育苗は苗の病気対策に効果あり	無化学肥料栽培 有機肥料のみで栽培 ※低地力田はリン酸施肥(熔リン,バットグアノ等)	坪当たりの植え株数は少なく	米ぬか除草法 米ぬかで雑草を抑える 100kg/10aを田植え直後に散布 N成分 2kg P成分 5kg K成分 2kg		無化学肥料栽培 有機肥料のみで追肥する ※有機栽培以外でも、追肥を有機肥料にすれば食味が向上。			稲わらをすき込み地力増進 多年生雑草の球根等をさらして枯死させる	
花巻酵素製品(有機JAS適合)の使用例	水稻用 ユキパー (有機肥料, 食味向上)				即効性の有機肥料なので、代掻きの直前に施肥(元肥)			追肥 幼穂形成期の直前に行く					
	施肥量 (10a 当り)				4袋(60kg) N成分 3.6kg P成分 2kg K成分 0.5kg			1袋(15kg) N成分 0.9kg P成分 0.6kg K成分 0.1kg					
	ライズ (土壌改良,葉対策,とろとろ層作り,食味向上) ■発酵ケイ酸 29%含有 稲に効果大	稲わら分解 田のわき防止 有効ケイ酸補給 稲わらと一緒にすき込み(秋か春,1回)		根張りの良い健苗作り 微生物と発酵ケイ酸が苗を丈夫に (自然育苗用土,養分を使う場合は不要)				※微生物と有効ケイ酸の補給 窒素過剰 茎葉を頑丈にしたい 若干追肥したい場合に 中干し頃に散布			稲わら分解 田のわき防止 有効ケイ酸補給 稲わらと一緒にすき込み(秋か春,1回)		
	施肥量 (10a 当り)	2袋 (30kg,粒状)		苗土に2%混合、土18kgに2合(360cc)				2袋(30kg,粒状)			2袋(30kg,粒状)		
自然育苗用土 自然育苗養分 (水稻専用有機床土) 使用量			自然育苗用土 苗箱 7枚/袋(覆土除き) 又は 自然育苗養分 苗箱 48枚/袋 (別途,土と混合)	<p>■この水稻有機栽培暦は食味・安全に重点を置いたものです。収量が落ちる場合もあります。■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻用ユキパー：魚かすを原料にした100%有機のポカシ肥料で即効性があります。 ・ライズ：貝化石に高発酵力の好気、嫌気性の微生物を培養した農業用の微生物資材です。肥料成分無し。ケイ酸29.7% カルシウム6.6%。土壌の改良、堆肥/緑肥/生ごみの発酵分解促進、ポカシ肥の発酵に使います。 ・作業時期、施肥量等は一例です。詳細は各地域の標準に従って下さい。 ・この例の総施肥量 N6.5kg P7.6kg K2.6kg (K(カリ成分)は稲わらのすき込みを前提。) ・米ぬか除草をしないときは元肥の水稻用ユキパーを6~8袋にします。 									